

1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 海務課長	
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	船席指定事務			連絡先	052-654-7881	
	対象(誰・何を)	船社・港湾運送事業者			連携課	港湾管理事務所
目的	意図(どうい う状態にしたいか)	安全かつ効率的な荷役作業の実施及び施設の有効利用を図ります。			事業期間	昭和26年度～継続
概要		入港する船舶の船型や荷役に適したパースの指定及び係留位置の調整を行います。			根拠法令等	名古屋港管理組合 港湾施設条例及び同 施行規則
令和元年度の実施予定		週3回のパース会議(船舶代理店等との調整)により入港船舶のパースを決定し、適正な施設提供を行います。			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
				関連シート		

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	週3回のパース会議(船舶代理店等との調整)により入港船舶のパースを決定し、入港料及び係留施設使用料の調定業務を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	74,439	74,674	74,309	74,474	
合計	千円	74,439	74,674	74,309	74,474	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
適正な船席指定ができなかった回数(回)	目標			0		0	入港する船舶の船型や荷役に適したパースの指定ができなかった回数	
	実績	0	0	0				
(単年度管理型)	事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
	目標							
	実績							
	事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	入港する船舶や荷役作業は、天候等により日数を要することがあるが、各々の船舶に対して適したパース指定を行った。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	公共の係留施設においては、様々な形態の荷役作業が行われており、すべての利用者に対して不平等な扱いとならないよう本組合が適正な船席指定業務を行う必要があり、荷役貨物の種類や時間、本船喫水、その他多様な条件に応じた利用調整を行うことにより、利用者のニーズに応えています。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	本事務事業により、安全かつ効率的な荷役作業の実施及び施設の有効利用が図られていることから、上位施策である国際・国内海上輸送機能の強化に、貢献していると考えております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○	最少人員の当直体制としています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
	継続	維持	すべての利用者に対して不平等な扱いとならないよう本組合が適正な船席指定を行う必要があるため。
			取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。
課題			
西部(飛島・弥富)地区への倉庫等の企業進出が進んでおり、飛島ふ頭や弥富ふ頭において、在来船の恒常的な混雑が発生しています。また、平成30年12月から金城ふ頭1.2突間の埠頭用地整備が開始され、埋め立てに伴い、5パースが廃止となったことから、金城ふ頭における在来船の混雑が発生しています。		荷役作業や船型等を考慮し、利用者(船舶代理店、船社・港湾運送事業者)の意向を最大限に反映できるように、適正な船席指定を行います。	